

# 国語 第1学年 わらしべちょうじゃ

## 検討会の想定問答

**指摘 1：**この単元で身に付けることは何か。

**返し：**昔話の読み聞かせから人物の行動と出来事の順を捉え、面白いと感じたところを伝える。教訓を一つに決めることを目標にしない。C(1)力の学習として、人物の行動と印象に残った出来事、自分の感想を示す絵や短い文。

**指摘 2：**何をもって学習できたと判断するか。

**返し：**おおむね満足できる状況は、読んで感じたことや分かったことを、人物の行動を挙げて友達と共有しているという姿で捉える。語句や本文を示さず結論だけ述べる場合は、根拠を確かめる支援を行う。発言の回数や記述の長さでは判定しない。C(1)力の姿を本時の発言と記録に照らす。

**指摘 3：**活動が楽しいだけで終わらないか。

**返し：**人物の行動と印象に残った出来事、自分の感想を示す絵や短い文を残す。活動後に、どの言葉を根拠にしたかを確認することで、C(1)力に関わる学習の中身を確かめる。

**指摘 4：**つまり児童にはどんな支援をするか。

**返し：**話を聞かずに知っている別の版の出来事を混ぜる、よい子になる話としてまとめる。これに対して、今回読む版の人物と出来事を絵カードや短い自作文で順に整理する。原文や教科書の挿絵は転載せず、教師の範読と教材を手元で確かめる。〔知識及び技能〕(3)アとC(1)力を切り離さず扱う。

**指摘 5：**考えが違ったときはどう扱うか。

**返し：**教師の結論を選ばせず、「心に残った出来事はどこですか。人物は何をしましたか」に戻す。言葉や本文で確かめられる点と、個人の感じ方を分け、C(1)力に関わる根拠を話し合う。

**指摘 6：**本時の評価で態度まで決められるか。

**返し：**本時の参加の様子だけでは決めない。学年の目標(3)を受け、単元を通した記録と見直しの理由を合わせて判断する。発言の多さや従順さを態度の評価にしない。

**指摘 7：**端末がない学級でもできるか。

**返し：**人物の行動と印象に残った出来事、自分の感想を示す絵や短い文は紙に記録できる。端末があれば書き直し前後を保存して比較する。道具の操作をC(1)力の評価の代わりにしない。

**指摘 8：**時間が足りないとき、どこを残すか。

**返し：**総時数の出典は光村図書出版の年間指導計画である。活動量を調整する場合も、本時の問いを自分で考える場面と、根拠を比べて記録を見直す場面は残す。C(1)力で目指す姿が確認できるように配当を組み直す。

**指摘 9：**この教材で、練習と使えるようになった姿をどう分けるか。

**返し：**今回読む版の人物と出来事を絵カードや短い自作文で順に整理する。原文や教科書の挿絵は転載せず、教師の範読と教材を手元で確かめる。完成品だけでなく、人物の行動と印象に残った出来事、自分の感想を示す絵や短い文。を見て、確かめ方と変えた理由を判断する。

指摘 10：振り返りを感想だけにしないためには。

返し：「心に残った出来事はどこですか。人物は何をしましたか」への答えを学習前後で読み比べる。変えた点に加え、理由を確かめて残した点も書く。C(1)力に関わる言葉の捉え方・使い方を記録する。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie\_ai\_katsuyo)  
[https://www.threads.com/@mie\\_ai\\_katsuyo](https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo)

LINEオープンチャット  
みえ先生ラボ

